

全國ノ物産ヲ養成シ士族ハ如クノ異トシテ國威ヲ科
理ノ農工商民ニ下臨スルノ權アルモノト爲シ而カモ其權
ハ才知ヲ以テ得ベカラズ富ヲ以テ買フベカラズ生レナカ
ニシテ其身ニ附著スル一種神聖ノ遺傳物ナリト爲シ子孫
相受ケテ明治維新ノ日ニ至リ實德古俗ヲ破壞シテ士族ノ
職權ヲ褫キ農工商民ノ長タリシモノ今ヘ下リテ農工商民
ノ後ニ立テ指テ合シ辱ヲ忍ビ終年辱處ニ暴露スルモ情
ホ未タ憐憫ヲ免カレザルノ時世トナリタルガ如キ士族ノ
心中實ニ憐レムベキモノアリ仮令時運ノ然ラシムル所ト
ハ云ヘ昨日帯刀ノ武士今日天祥棒ヲ肩ニスルニ忍ビ去
年深閑ノ尊姐今年稻田ニ苗ヲ播ムノ乙女ナキアモカフズ
農工商ノ實業ニ從事スルハ何トナク面伏セナル心地セフ
レヲ知ラズ謙ラズ遷延途絶シテ奮テ事ニ當ルコト能ハズ是亦
人情ノ當然ナレバ今俄ニコレヲ責ムルモ忍ラズハ其陰ナ
カルベシ然ルニ幸コシテ養育ノ業ヲ元ト農事ノ一部ナ
リト雖モ其風致ノ清雅ナル決シテ尋常一様ノ農務ニアラ
ズ古來今日ニ至ルマデ一國帝王ノ后妃ニシテ自カラ養
ニ從事スルサヘ多ク何程高貴ノ家門ナリトモ屬業ニ從事
シテ愧ツル所ナキハ世ニ著明ナル事實ナレバ士族ガ實業
ニ業トスルコト決シテ遲疑スルコトナカルベシ又彼 桑園ヲ
培養シ桑樹ヲ刈取ル勞ノ如キハ尋常百姓ノ仕事ヨリモ重
ク花壇樹園ヲ看護スル業駝師ノ業ニ類スル所多ク決シ
テ無雅無趣ノ勞作ニアラザルナリ主人自カラ桑園ニ從事
シ妻女自カラ蠶兒ヲ飼養ス一見人ナシテ其生計ノタメナ
ルヲ覺ヘシメバシテ却テ消閑娛樂ノタメナルカヲ疑ハレ
ムルノ趣アルベシ養蠶ハ今ノ士族ノタメニ實ニ屈竟ノ産
業ナリト云フベキナリ (未完)

廣東ノ一揆

本日ノ電報欄内ニ揭ケル如ク支那人ノ一揆ハ其原因判然
セザレドモ廣東ノ外國人居留地ヲ攻撃シテ「シヤメイ」
島ノ一半ヲ侵掠シ且ツ之ヲ燒燬シタルトノ事ナレバ其勢
頗ル熾ナルモノト見ヘタリ尤外國人等ハ其河津ニ碇泊シ
タル船舶ニ逃テ移リ一名ノ死傷ナカリシ由ナルモ「シヤ
メイ」島ハ廣東市街ノ前面ニ在リテ外人ノ居宅ハ勿論
各國ノ領事館モアリ廣東市街トハ大橋ニ由リテ相通シ多
クハ上等士人ノ居留スル處トナレリ支那人ノ一揆既ニ此
島ノ一半ヲ燒燬シタルトアレバ或ハ領事館杯ニ延燒シタ
ルヤモ知ルベカラズ尤モ此邊ニハ常ニ一二ノ漁船ヲ碇泊
シ香港、廣東、マコー會社等ノ船隻更レ々ニ投錨スルガ
故ニ居留外人モ無難ニ逃テ移ルコト得タルナラント雖モ
モ一人ノ死傷モナレトハ何等シキ難キコトナレバ右ノ電報
ヲ讀スル前ニ未ダ其詳細ニ詳シク之ヲ尋問スルベキナリ
モノナラズ

時事新聞ノ外國電報欄内ニハ
九月六日倫敦報 一乃五千ノ支那兵東京ノ疆界ヲ
○除ヘカリトノ報アリ○佛國政府ハ聯大ノ援兵ヲ東
京ニ運送スルコト決定シタリ○清佛間ノ被擄勿論ノ
難アルヲ以テ英國ニテハ到ル處皆其事ヲ論シ頗ル
憂慮ノ氣色アリ○騰動新聞ハ、英國ハ清佛ノ間ヲ
調停セザル可ラズト論シタリ
トアリ左レハ此一揆トハ昨今偶然ニ廣東地方ニ起リ
タルモノ歟或ハ彼ノ東京ノ疆界ヲ除ヘカリト云フ一
乃五千兵ノ雲集廣東地方ニ徘徊シテ土地ノ人ヲ敢
唆シ又自カラ手ヲ出シタルモノ歟モ知ル可ラズ兎ニ
角ニ我輩ノ臆測スル所ニテハ清國今日ノ有様ハ我輩
幕府末路ノ如ク廟堂中少シク開進論ヲ唱テ近時ノ器
械ヲ用ヒントスレバ忽チ反對黨ヲ生シテ其論議ノ
難儀ニ達スル組業ニ及ビシモノニ彷彿タルモノ、
如シ又廣東ノ地タル外國人ノ最も久シク出入スル所
ニシテ其人莫ク自カラ西洋ノ風ニ浸染シ大清國中最
モ洋風ノ太クシキ處ニシテ支那ニテ所謂報國盡忠ノ
志士ハ廣東人ヲ呼テ爾登ト稱シ之ヲ賤シノ之ヲ恐ム
キ甚シトノ事ナレバ右ノ一揆モ必ズ在廣東外國人居留
地近邊ノ者ニハ非ズシテ遠近共ニ報國盡忠家ノ一類
ナラン而シテ目下清廷ノ論勢ハ何レノ邊ニ在ル可キ
ヤ路ニ當ル者ハ活潑開進西洋ノ文明ヲ友トスル者ノ
黨歟或ハ守舊頑固、口ニ著實ヲ名トシテ退歩スル者
ノ黨歟コレヲ知ルコト甚ク難シト雖モ廣東ノ一揆ハ純
然タル攘夷論ノ結果ナリトスレバ清廷ハ此事ニ付如
何ノ處分ヲ出ゾ可キヤ唯我輩ハ後報ヲ待ツノミ

雜報

○廣東居留地
○寺島宗則君
○香港電報
○宇國藩在
○三重縣令
○一條家 華
○沙比地お成り
○事濟に成り
○くる都合にて

○廣東居留地
○寺島宗則君
○香港電報
○宇國藩在
○三重縣令
○一條家 華
○沙比地お成り
○事濟に成り
○くる都合にて